

米海兵隊CH-53による佐賀空港滑走路付近でのローパス事案について

【概要】

- ◆ 発生日時：令和6年2月28日（水）12時10分頃
- ◆ 発生場所：佐賀空港滑走路付近
- ◆ 該当部隊等：米海兵隊第1海兵航空団所属 CH-53ヘリ × 1機
- ◆ 事案概要：米海兵隊CH-53ヘリ1機が佐賀空港の滑走路付近を低高度で通過



【CH-53Eヘリの動向】

- ◆ 当該機は、日米共同訓練（アイアン・フィスト24）に参加していた機体であり、相浦駐屯地（長崎県）を11時50分頃離陸し、高遊原分屯地（熊本県）に向け飛行する途中であったもの。
- ◆ 当該機は、機体の不具合のために佐賀空港滑走路付近に接近したのではなく、低高度で滑走路付近を通過し、12時32分頃高遊原分屯地（熊本県）に着陸したものの。

【当省の対応状況】

- ◆ 2月28日、防衛省としては、米側に対し、事実関係の確認に加え、遺憾の意を伝えるとともに、再発防止の徹底について申し入れを実施
 - ・ 「防衛省地方協力局」から「在日米軍司令部」へ
 - ・ 「九州防衛局」及び「沖縄防衛局」から「在沖縄米海兵隊基地」へ、
- ◆ 2月29日、九州防衛局長から佐賀県及び佐賀県議会議長等、佐賀市及び佐賀市議会議長等へ事案説明
- ◆ 航空機の運用に際しては、安全確保が大前提であることは言うまでもありません。引き続き、米側に対しては、安全面に最大限配慮するとともに、地域に与える影響を最小限とするよう求めて参ります